

1 めざす生徒像 【生徒アンケートより】

○ 目標値達成 ▲ 目標値未達成

		今年度達成目標	今年度達成率
〈知〉 学びの心	授業が分かる	80%以上	○ 91.2%
	授業でもっと知りたい	70%以上	○ 75.0%
〈徳〉 思いやりの心	学校が楽しい	90%以上	○ 92.6%
	安心できる学級	80%以上	○ 93.9%
〈体〉 鍛える心	朝食を食べて登校	95%以上	▲ 89.2%
	部活動が楽しい	90%以上	○ 93.0%

2 保護者が学校に期待すること【保護者アンケートより】

「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」と答えた保護者の割合

・ 確かな学力の育成

- 「学校の授業がわかる」と言っている 71.2%
- 帰宅してから宿題を含めて「1時間以上の学習」をしているようだ 55.9%
- 学校は、一人ひとりに応じた支援を行い、学力を伸ばす努力をしている 84.5%

・ いじめのない学校づくり

- お子さんは、「学級が安心して過ごせる場所」だと感じている 85.3%
- 子どもが気軽に話したり相談したりできる「先生」がいる 89.5%
- 三者面談などを含めて「困ったことが相談できる雰囲気」がある 98.5%
- 学校は、子どもの安全確保や健康管理のための取り組みを十分行っている 95.3%

・ 自他を思いやる心の育成

- 自分を大切にするとともに、友だちや他人を思いやることができる 96.4%

3 教職員自己評価

〈学習面〉

- ・研修テーマ「確かな学力の育成に向けた授業改善」を意識して、授業改善に取り組んだ。84.6%
- ・「授業終末の生徒の姿や身につける能力を明確にした授業作り」ができた。76.9%
- ・担当教科・学級担任として「家庭学習の習慣化を図る」ことができた。79.3%

〈生活面〉

- ・不登校、別室登校の生徒に対して、学年・学校体制で適切な指導をすることができた。91.6%
- ・「いじめ防止等のための基本的な方針」に沿って、学年・学校体制でいじめの未然防止、早期発見、早期対応に努めることができた。100%
- ・教師と保護者の間により関係を築き、いつでも連携が取れていた。100%
- ・教師と生徒の間に信頼関係があり、いつでも相談できる雰囲気がある。100%

考察： 年度当初、生徒を迎え入れる前に学習指導、生徒指導の土台にある生徒理解を深めるため、生徒理解研修を実施した。前年度末には、新入生に関する情報交換を小学校と行い、生徒理解に努めた。これにより、子どもたちの表れの背景にあるものまで原因を考え、指導にあたることを職員間で共通理解することができた。

また、研修主任を中心に校内研修においてICTの活用を積極的に実施したり、学習意欲の触発を目指し「授業開始の10分間の工夫と終末の一貫性」を意識した教材研究を推進したりした。その結果、各教科で身につけさせたい力の習得に対して確かな手ごたえを得ることができたと考えられる。

生徒との丁寧なかかわりが教職員との間に信頼関係を生んでいると自負しているが、「学校が安心できる場所である」「困りごとを相談できる先生がいる」とアンケートに答えた生徒の割合の高さにも表れたと考えている。

今後も生徒の実態を大切にしながら授業改善を続けると共に、目標の実現に向けた学習状況を把握する観点から、単元や題材など内容や時間のまとまりを見通しながら評価の場面や方法を工夫していくことを目指したい。